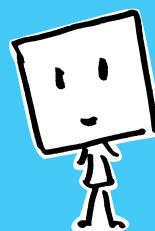




男と女が共に歩むための情報誌

Hi, あきしま

vol.24
2007.10



特集

“わたし”と“あなた”の ^{い い} 人々 関係

● People

昭島傾聴ボランティア・さざなみ

● Book

『女性の品格 装いから生き方まで』

『男の品格 気高く、そして潔く』

“わたし”と“あなた”の

特集

姑

い い
人 人 関係

娘

仕事場や地域、家庭、友人・・・
さまざまな人間関係の中で使われる“呼び方”
気づいていくことから始まる新しい関係
これから素敵な人生を歩むための意識改革

嫁

妻

婿

舅

夫

士

夫婦の呼び方

あなたはどっ呼んでいま
すか



お互いに良い所だけ見せ合い、それぞれの名前で呼び合う恋人時代。お互いの良い所を認め、悪い所を許し合う結婚生活。「お父さん」「お母さん」と子どもの視点で呼び合い、父母としての役割が増える子育て時代。

私たちは、立場・役割が変わるたびに、お互いの呼び方が変わること、を当たり前のように受け止めています。

では、子どもが自立し、再び夫婦二人になったとき、お互いをどう呼び合いますか？ 子育て時代のままの呼び名でいきますか？ それとも孫が生まれて「おじいさん」「おばあさん」とまた呼び方を変えますか？ 普段何気なく使う言葉にこそ大きな意味がかくれているようです。

『たかが言葉、されど言葉』今回考えた呼び方には、正解はありません。例えば、「主人」という言葉に、そんな意味があったのか」と知っていたらもしかして、使い方も変わってくるかもしれません。

Live

編集会議

A みんなは、自分の夫のことをなんて呼んでいるの？それで、逆になんて呼ばれているの？

B 私は友達と話すときは、あだ名とか「うちの」だけど、自分より目上の人に話したりするときは、「主人」かな。私のことは「奥さん」って言っているみたいだけど。

A 「主人」ってなんか違和感ない？「主人」って意味を考えてみたことってある？要は「ご主人様」の「主人」でしょ？変だと思わない？別にあなたが夫に仕えているわけじゃないんだし。

B そっか。深く意味まで考えたことなかったな。だって、テレビでレポーターの人って「奥様・ご主人様」って平気で言っているし、ドラマでも、

「主人がいつもお世話になってます。」ってセリフ言っているじゃない？だから、丁寧な言い方が「主人」だと思って使っていたの。

C そうなると「奥さん」も同じよね。もともと「奥」つまり家の中にいた人って言う意味だものね。

B そう言われるとそうよね。でも、うちでは「奥さん」って丁寧な言い方だと思って使っているよ。みんなは、どう呼んでいるの？

A 私は、他人に話すときは「夫」と言うわ。共通の知人には名前と言うようにしているの。夫は「お母さん」って私を呼ぶけど…。かといって母の日のプレゼントはくれないけどね。

C 私は基本的には「夫」だな。たまに、「うちのだ

んな」って言うこともあるけど。友だちには名前で言っているな。夫は私のことを「お母さん」、たまに名前で呼ばれるときもあるかな。人には「うちの女房」って言っているのを聞いたことがあるな。

D うちはお互い「あだ名」や「名前」で呼んでいるよ。他人には、「旦那」や「〇〇が」って苗字で呼ぶようにして、極力「主人」って言わないようにしているわ。

E 私は「主人」って言っていたのだけど、以前友だちと旅行に行った時「その言い方不愉快だからやめて」って怒られた。ちゃった。

F 私は「旦那さん」だな。家では「お父さん」って呼ぶけど。あつ、お舅さんのことも「お父さん」って呼んでいる！

C でも、自分の夫はいい

「女」のつく漢字は多いけれど、「男」のつく漢字はあまりありません。そこで、「男」を表す漢字を調べてみました。

【士】 おとこ／さむらい

《意味》 おとこ（をとこ）。青年のおとこ。ひとりだちする成人したおとこ。

春秋・戦国時代以後に生じた知識人。のち広く、学問や知識によって身を立てる人のこと。

辞書で調べてみてください。

D 確かにね。なんと言ったらいいかわからないよね。

B なんだか「あなたの夫が」って言うとおつきらぼうに言っているような感じがするのよね。

D でもやっぱり、「〇〇さんのご主人」とか「〇〇さんの奥さん」が一般的みたいね。

C 意外と若い世代の方が「主人」って呼んでいるのよね。

F でも、「主人」って使っている人たちは、自分の「ご主人様」って言う意味ではなく、「夫」を指す言葉として使用している人がほとんどだと思うわ。

C

「主人」という言葉を使っているからといって、夫に雇われているって思っている妻はいないでしょうけど、何か変えたいわよね。外国ではどうかしら？

D

たぶん固有名詞で「トム」とか「ジェリー」じゃないかな。夫が、妻のことを言うときには「メアリー」「ベティー」とか…。

A

でもほら、変な例えだけど、トイレの並び方って、以前と違って一列に並んで待つようになったじゃない！あれは、別に法律で決まった訳じゃなくて、個室のドアの前に並んでいると「損」をしたという実体験があるから、習慣が変わったのよね。そうやって問題意識をもって、変えるのって大切よね。変えようとするのってエネルギーがいるよね。

主人は今、出かけていて居ないんですよ。

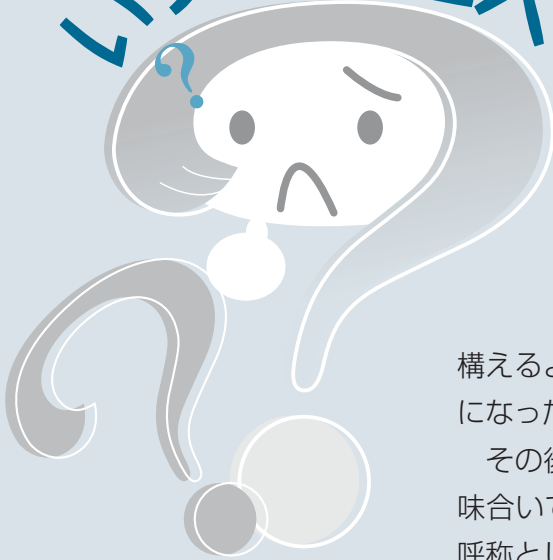
お父さん！
晩ご飯これでいいかしら？

ボクにとって「ご主人」と思っていたけれど、彼女にとっても「ご主人」なんだニャー。



あれれ？彼女のお父さんは…。あっ、そっか今は夫さんのこと呼んだんだ。難しいニャー。

いつから“主”



近世の幕藩体制においては、年貢を納める代表責任者であった「地頭」や「当主」が「ご主人様」と呼ばれる位置にいたように、ある一部の支配層でしか使われていませんでした。その後、幕藩体制が崩壊し、身分制も廃止されます。家制度に縛られた結婚から、自由な恋愛をして結婚するという形態になり、かつては、家を継承できる権利を持つ「跡取り」だけが「主人」であったのが、それぞれが独立して「一家」を

構えるようになった時に、一般的に庶民の間でも使用されるようになったと考えられています。

その後も、封建的な身分関係において一家の「主人」という意味合いで「ご主人」という言葉が使われていましたが、「夫」の呼称としては、明治時代には「夫（をっと）」「良人（やど）」「主人（あるじ）」、大正期には「夫（をっと）」「連合（つれあひ）」などが使用されていました。

昭和期に入り、10年頃に「主人」という言葉が見られ始めますが、「雇う者」の意味で使われることがあったので、混同をさける意識が働いて、使う人は少数であったようです。

戦後、「夫」の呼び名として「主人」が、浸透しました。これは、新聞やマスメディアによる影響がかなり大きいようです。

参考資料 『「主人」ということば』 福田真弓著 明石書店

『ちょっと待って、その「ことば」「ことば」に見る女性』 井出祥子著 （財）東京女性財団

メディアの中で

次の言葉を見てください。
なんとなく違和感がありませんか？

男性弁護士5名が

弁護団に！

男優〇〇の素顔。

男子アナ〇〇が

取材しました。

「男」という言葉のところに「女」という言葉を入れてみてください。

「女性弁護士」「女優」「女子アナ」など、電車の中吊り広告やテレビ番組などでよく見かける言葉です。日常会話でもよく使われます。

これは、本来の標準が「男性」であって女性の場合は特別という考え方からきています。

もちろん、「男子更衣室」「女子トイレ」等のように、絶対的な区分けが必要とされる言葉もあります。

学校では

父や兄が全て家の代表であった時代は、「父兄会」「父兄の皆様」という表現を使っていました。現在、母親が関わることも多く、また一人親家庭、祖父母が関わる場合などがあることから、「保護者」という言い方に変わっています。

地域では

「〇〇さんのご主人」とか「〇〇さんの奥さん」という言い方がまだまだ一般的で、「の」つきの呼び方が蔓延しています。

自治会などでは世帯主の名前で呼ばれます。本部役員などの企画に携わる役職は男女を問わず個人名ですが、「理事」「幹事」といったお世話役では、世帯主の名前が名簿に登録され、実際に働くのは女性ということもあります。

かくれた“意識”みつけた

職場では

「〇〇部長」「〇〇課長」と役職名をつけて呼んでいた会社でも、「〇〇さん」と名前で呼ぶ企業が増えていきます。また、「うちの女の子に持たせます」という言い方はセクハラです。「〇〇に持たせます」と名前で表現するようになってきています。

資格名も

以前はよく耳にした「保母さん」。以前はこの職業につくのは、ほとんど女性だったため問題はありませんでしたが、1990年代に入り男性が増えてきたことから「保父さん」という言葉が作られました。その後、1999年の男女雇用機会均等法の大幅な改正と同時に「保育士」という資格名に変更されています。同様に「看護婦・看護士」が「看護師」へ、「保健婦・保健士」が「保健師」へと変更されています。

地域デビューを模索する

高橋大治さん（玉川町在住）

高橋大治さんは、6年前、42年間勤めた会社を定年退職してから、長年住んでいる昭島市への感謝の気持ちも込めて、地域に役立つ活動をした、と考えてました。退職後の行動は、とても計画的なものでした。

まず、福祉の現場を知りたいと思い、昭島市保健福祉センター（あいぼっく）の管理員の仕事をしました。その仕事を通して、たくさんの方の福祉団体の方たちと知り合いました。

次に、シルバー人材センターに登録し、仕事と地域の仲間を得ました。「男の料理」グループに参加し、月一度あいぼっくで、料理も楽しんでいます。

そして、去年、傾聴ボランティアの存在を知り、「自分の目指す活動はこれだ」と直感し、傾聴関連のいろいろな講座に通いました。



経験を活かして

有賀雅子さん（宮沢町在住）

有賀雅子さんは、長い間、社会人や一般企業の社員教育に携わって

People（ピープル）では昭島で活躍する元気な人たちを紹介します。

People

今回は、昭島傾聴ボランティア・さざなみの有賀雅子さん、高橋大治さんにお話を伺いました。

生きる力に
少しでも添えるように

●話を聴いて欲しい方へ●

自分の心の中だけでは納まらない人。一日中誰とも話のできない人。子育て中で孤独に陥っている人。年齢・性別にかかわらず傾聴を希望する方は、社会福祉協議会ボランティアコーナーにご連絡ください。

☎042-544-0388

な経験から、家族・世代間の人間関係の大切さを誰よりも切実に感じています。傾聴ボランティアの必要性に賛同し、新たに活動を始めました。人に優しい、ぬくもりのある活動にした、と考えています。

昭島傾聴 ボランティア・さざなみ

お二人の出会い、社会福祉協議会主催の「傾聴ボランティア養成講座」を受講したことでした。平成18年の11月から、毎週土曜日全5回の講座を終え、仲間内で自主グループを立ち上げました。

まだ、できたてのグループですが、今年度の講座受講生からの入会もあり、会員は、現在45人となりました。

「今はまだ、市内の特別養護老人ホームへ出向いてお話を伺うことが多いのですが、徐々に、社会福祉協議会などを通じて、個人の依頼もありますので、その要望にも応えたいと思っています。」と、高橋さんはおっしゃいました。

誰もが、個人として認められたいし、感情を出したい。共感して欲しいし、受け止めて欲しい。でも、批判はされたくないし、自分で決定したい。そして、誰かに話しても秘密は守って欲しい。という思いがあることでしよう。

「昭島傾聴ボランティア・さざなみ」は、その誰もが思っていることを大切にして、活動することを心がけています。これから、ますます需要の増えるボランティアだと思っています。

「傾聴」ってなに？

「聞く」は特別な注意を払わず、漫然と聞くこと。いわば普通の会話です。それに対して、「聴く」は、注意深く、相手の言う事を肯定的に受け止めながら「耳・目・心」で聴くことです。

「傾聴」とは、耳を傾け、心をこめて、相手に寄り添い、ありのままを受け入れて話を聴くことです。

BOOKS

「女性の品格」という本がベストセラーになっています。それなら、「男性の品格」という本があるのではないかと探し、2冊の「品格」の本を取り上げました。

食品の偽装表示、行政の不祥事と企業や公務員のモラルが取りざたされている昨今、社会人としての「品格」を今一度考え直すときかもしれません。



女性の品格 装いから生き方まで

PHP新書
坂東眞理子 著

1998年、女性初のオーストラリア・ブリスベンの総領事を務めたときには、公邸のディナーに招待した人から必ずといって良いほど礼状が届いたとか。今までの自分を反省して礼状をこまめに書くようにしたそうです。約束をきちんと守ること、挨拶ができることなど、当たり前のようなことができていない現実を憂い、男とか女ではなく人間としてあるべき『品格』、モラルを書いてあります。

総理府入省から内閣広報室参事官、男女共同参画室長、埼玉県副知事等を経て、内閣府初代男女共同参画局長を務めた立場から社会を見て、人への責任ある接し方も書いています。

その後、昭和女子大学教授を経て、昭和女子大学副学長、同大学女性文化研究所長。2007年4月より同大学学長を歴任することで、現代の若者にも伝えたいものがあるのでしょう。

題名は『女性の品格』と女性を限定しているように思われますが、老若男女誰が読んでも、誰にでもあてはまること、日常的なことが書かれています。

この本以外にも『副知事日記－私の地方行政論』『ゆとりの国オーストラリアーブリスベン総領事見聞録』『男女共同参画社会へ』『新・家族の時代』などを書いています。



男の品格 気高く、そして潔く

PHP研究所
川北義則 著

この本についている帯の文章にだまされてはなりません。決して男に都合のいい美学ばかりが書かれている本ではないのです。ちょっと見た目には「チョイ悪おやじ」推奨本とも思えるような文章に目がいきます。が、中身は著者である川北氏の博学な、しかも美しい日本語の文章に満ちていて、心をぐっとつかまれます。

本全体を通して語られている「遊び」という心。言葉どおりに受け取ると品格が下がることになるかも。川北氏が言っている「遊び」とは、車のハンドルにある構造上の「あそび」という意味に近いのです。「あそび」＝「ゆとり」と言ったらわかりやすいかもしれません。男の活躍する場面、仕事・家庭・恋愛・趣味などの章ごとにわかれて書かれています。「あそび心」は、その引き合いに出されている著名人も多く、著者の世界の広さを感じさせ、読むだけで知識が広がること間違いなしです。まさに男の行間を広くするとは、こういうことを言うのでしょうか。

男女の性別にこだわり「男の価値は女に選ばれるため」と言っているのも、モテる男になるためのマニュアル本と言えないこともないでしょう。女に選ばれる男・男に選ばれる女、どちらをとっても自分を磨き上げる努力をして、年齢相応の品格を備えなければならないと言うことなのだと思います。

女性悩みごと相談

家族関係やからだ、心の悩みなどはありませんか？ 専門のカウンセラーによる相談です。お気軽にご利用ください。 **《無料》**

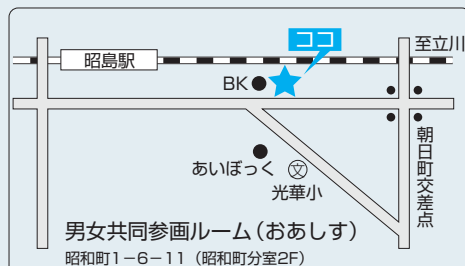
相談日 毎週水曜日 午後1時～4時
(祝日・年末年始は除く)
相談時間 一人50分まで
場所 市役所3階 小応接室
相談方法 電話または面接
利用方法 予約制 TEL 544-5130

男女共同参画ルーム おあしすへようこそ

誰でもふらっと遊びに来てください。友だちとのちょっとした集まりやくつろぎのひとときに、「おあしす」を提供します！ 団体登録すると、開室日以外も利用できます。また、「言いつぱなしの会」も開いています。ぜひご利用ください。詳しくは市役所企画政策室。 ●開室日：水・土・日曜日（祝日・年末年始は除く）午前10時～午後4時

言いつぱなしの会 ★毎月第3水曜日 午前10時～

日頃思っていることを、お茶など飲みながらお話ししませんか？ 誰でも自由に参加できます。



編集後記 家族総（絶対）エネルギー論 家族の中で元氣のある人、そうでない人。誰かがノリノリの時、誰かがへこんでいたり。家庭内には「絶対エネルギー」があって、みんなのエネルギーを足すと100になる。そんなことを考える。今日この頃です。

＊編集委員＊
安部 直子・高橋 由美
松本 智子・柳川 敦子

男女共同参画講演会を実施します



講師 渥美 雅子さん

弁護士であり、「女性と仕事の未来館」の館長でもある渥美雅子さんをお迎えして、「法律と女性の暮らし」について講演していただきます。

日時 平成19年11月18日(日)
午後2時～4時
会場 昭島市公民館 小ホール
定員 200名(先着順) 保育あり(要予約)

(財)女性労働協会 女性と仕事の未来館

女性と仕事の未来館は、働く女性・働きたい女性を総合的に支援する拠点として、2000年1月に開館しました。

未来館では、セミナーや相談の実施、情報提供などさまざまな支援事業を展開することにより、働く女性・働きたい女性一人ひとりが働くことの中に自分自身の可能性を発見し、その可能性を広げ、心身ともに健康で生き生きとした自分らしい働き方を実現できるようサポートしています。

<主な事業>

女性の能力発揮事業

能力発揮セミナー、企業支援セミナー、相談 ほか

女性の健康促進事業

健康問題に関するセミナー・研修会、相談、展示 ほか

情報・広報事業

広報誌「未来通信」、PRイベント、働く女性のあゆみ展示、ライブラリー、ホームページ ほか

〒108-0014 東京都港区芝5-35-3

TEL 03-5444-4151 (代表) FAX 03-5444-4152

URL <http://www.miraikan.go.jp>



昭島市男女共同参画都市宣言

わたしたちは、水と緑に恵まれた昭島を引き継ぎ、性別や世代を超え、一人ひとりがいきいきと輝くまちをめざし、ここに「男女共同参画都市」を宣言します。

わたしたちは

- 1 男女がお互いを認め合い 一人ひとりが尊重されるまちをめざします
- 1 一人ひとりが自立し 男女が平等なまちをめざします
- 1 一人ひとりが個性と能力を発揮し さまざまな分野に男女がともに参画するまちをめざします
- 1 職場・学校・地域・家庭をはじめ社会のあらゆる領域で男女がともに責任を担うまちをめざします
- 1 国際社会の一員として地球環境を守り 男女がともに支え合う平和なまちをめざします

平成15年1月1日



昭島市